

社会的養護の小規模化における調査研究子どもの視点および職員の視点からの現状と課題の検証

NPO法人 こどもサポートネットあいち
〒462-0058 愛知県名古屋市北区西志賀町5-13-1

助成事業の概要

児童養護施設の小規模化が進み、2015年度には地域小規模332か所、小規模GC1057か所に増加している。地域小規模や小規模GC（以後小規模施設とする）で暮らしている子どもたちの家庭的な場所での生活に対する思いを把握することを目的とした。また小規模施設で働く職員は一人勤務も多くなり困難なことが生じるため、職員の思いも把握することも目的とした。全国の小規模施設に、アンケートの依頼文と返信用封筒とともに用紙を送付し返送してもらった。アンケート内容を読んで答えてもらうことを考え回答は職員と中高生とした。中高生のアンケート内容は、小規模施設で生活することについてどのように説明され、その時どのように思ったか、生活してみてもどのように思っているかを尋ねた。職員には、小規模施設での勤務になることについてどのように説明され、その時どのように思ったか、小規模施設で働く良い点や困った点、食事に関することなどを尋ねた。アンケートは施設や個人が特定されないように配慮し集計した。アンケートの実施は30年度4月以降に実施。

事業の成果

このアンケート調査により地域小規模や小規模GCで暮らしている子どもたちの思いが明確になった。また、地域小規模や小規模GCで働く職員の思いも明確になった。さらに、地域小規模や小規模GCで働くときの困難事項も明確になり、

施設の小規模化を今後進めていくときの参考となる。今回の調査では地域小規模や小規模GCの食事についても調査した。

アンケートは全国の児童養護施設602箇所に実施し、中高生の回答者は、地域小規模児童養護施設（以下、地域小規模とする）が69名、小規模GC（以下、GCとする）が81名であった。職員の回答者は、地域小規模が60名、GCが48名であった。

①**中高生のアンケート**（小規模施設で生活することについてどのように説明され、その時どのように思ったか、生活してみてもどのように思っているかを尋ねた。）

中高生では、現在の小規模施設に移る時に「担当者から個別に説明があった」と回答した人が最も多く、地域小規模では約5割、GCでは、約4割であった。また、現在の小規模施設で生活する説明を聞いたときの気持ちでは、地域小規模、GC共に「よくわからなかった」と回答した人が最も多く、地域小規模では約3割、GCは約4割であった。また、生活してみても双方ともに8割以上が職員と話がしやすくなったと感じていることがわかった。一方で地域小規模、GC双方共に4割が一緒に生活する子ども同士の関係で気の合わない子がいて苦痛を感じていることがわかった。

②**職員のアンケート**（小規模施設での勤務になることについてどのように説明され、その時どのように思ったか、小規模施設で働く良い点や困った点を尋ねた。）

職員の回答で、現在勤務している施設形態が変わるときの説明で、地域小規模では「施設長から個別に説明があった」が6割、GCでは「職員全体が集まる会で説明」が約5割で最も多かった。また、現在のグループで勤務することになる説明を聞いたときの気持ちは、地域小規模、GC共に「不安な気持ち」と「楽しみな気持ち」が多くみられ、それぞれ4～5割であった。また生活をしてみて双方ともに9割が子どもが意見が言いやすくなったと感じている。一方で双方共に4～5割が、子ども同士のけんかやトラブル、暴力などがおきたとき職員の対応が難しくなったと感じていることがわかった。また、改善してほしいことの自由記述においては、職員配置の増員を望む回答が多くみられた。

③食事にに関するアンケート

中高生では双方共に8～9割が食事がおいしいと感じていることがわかった。職員では双方共に9割以上が食事は充実していると感じていることがわかった。

成果の広報・公表

全国の児童養護施設603施設（アンケート調査段階）をお願いをして社会的養護の小規模化における調査研究子どもの視点および職員の視点からの現状と課題の検証を行うために全国の児童養護施設に配布して実施しました。回収率は予想より少なかったですが、回答していただきました施設の職員や高校生の皆さんには大変貴重な時間を割いて丁寧に回答をいただきました。

無記名の全国調査ですので、回答がなかった施設にも参考としていただくために調査・分析をしていただきました研究者や施設職員の意向をお聞きし、助成の一部を印刷費（取り敢えず500部を印刷しました。たらない場合は追加印刷をする

予定です。）および郵送代を若干増額して簡単にまとめた事業概要と成果を全施設に配布して、その際、冊子を希望するかどうかをお聞きして希望する児童養護施設には年度末にまとめて配布することに決めました。回答がない施設に対してはどなたでも見れるように当団体のホームページに掲載して見ていただくことにしました。児童養護施設の多くの職員が読んでいただき少しでも参考となれば幸いです。

あとは機会を見つけて色々な児童養護関係の研究会等で発表の機会を得て紹介をしていきたいと思っています。

今後の展開

今回のアンケート調査を踏まえて、今後国の方針として小規模化が進められていくものと推察されます。少しでも施設で生活している子どもたちや職員の意見を取り入れた改革案を進められることを期待したい。そのためにも今後子どもや職員に関するアンケート調査を当団体としては引き続き継続をしていきたいと考えています。

今回の調査結果を年度末にアンケートの事業概要と成果を全施設に配布するまでに今回の調査分析からさらにアンケート調査内容がまとめれば引き続き再度アンケートの依頼を考えています。